

こんにちは。工明会の運動会で副部長を務めました、工学部機械知能航空工学科 3 年生の村上浩貴です。今回の運動会についてちょっとした報告をしたいと思います。

5 月 17 日に東北大学の評定河原運動競技場で工明会大運動会がありました。当日は 5 月にしては少し暑いかと感じるくらいの気温で、天気は快晴、絶好の運動会日和です。去年は残念なことに大雨で中止になってしまい、その分まで含めた 2 年間分の“気合い”と“熱意”のこもった運動会になりました。

運動会はそれぞれの学科のコースに分かれて、「リレー」や「借り物競争」などの定番の種目から、「ムカデ競争」や「三人三脚（四脚ではなく三脚です!）」などちょっと珍しい種目まで、様々な競技で競い合い順位を決めます。自分も機械系のナノメカニクスコースの一員として「綱引き」に参加しました。

もちろん運動会の競技には全力で取り組みますが、当日だけではありません。“気合い”の入った準備から既に運動会は始まっています。例えば、それぞれのコースごとに模造紙大の紙にこんな「檄文」が研究棟に張られていました。

「今こそナノメカニクスの名のもとに個々の力を集結せよ。学生の溢れるエネルギーと教職員の叡智を一つにせよ。そしてともに勝利に向かい突き進め。立ち上がれ！ナノメカの勇者たち。ナノメカの力で大山を動かすために。」

学生だけでなく先生方の“熱意”も伝わってくると思います。講義に出ながら、檄文を見つつ、「勇者」の一人としてきたる運動会への備えをしてきました。

そして、運動会当日です。グラウンドには各コースの旗がはためき、同じ T シャツを着て運動会に望むチームもありました。朝から円陣を組んで“気合い”を入れているチームもあります。部長の開会宣言で運動会が始まりました。

リレーでは各コースから選抜された選手だけあってかなり速い！と思いきや…、転ぶ人が続出。バトンゾーンでくると前転してしまったり、借り物競争では「お題」の書かれた紙が置いてある机にぶつかってひっくり返してしまう選手が出たり、と普段研究センターで運動をしていないせいか「想い」に「体」がついてこないようです。怪我する人も出ずに無事に終わり良かったと思います。

プログラムが進んでいきいよいよ自分の出場する「綱引き」です。綱引きといってもただ綱を引くだけではありません。東北大学の工学部生らしく効率的に綱へと力を伝える「理論」を元に綱引きに挑みます。ナノメカコースでは、「学生の溢れるエネルギーと教職員の叡智を一つに」ということで選手を集めて教授の叡智を授かるために講義を受けました。なんと「綱引き」に関する講義です！「足をピンと伸ばして体を一直線にし、脇をしめて綱を引く」などの綱引きのコツを物理で習った数式を元にして教わります。ここまで徹底しているとは！と驚きました。

そのかいあってかナノメカコースはトーナメントを一回戦、二回戦と順調に勝ち進みなんと決勝戦へ！しかもその決勝戦で勝利したチームが運動会の総合優勝という“熱い”展開に。疲労もかなり溜まっていたのですが、これはもう死ぬ気で綱を引くしかない“気合い”を入れ直して決勝戦を戦いました。結果は…、ナノメカコースは残念ながら負けてしまい、今年の工明会の運動会の優勝は「量子エネルギー・サイエンスコース」になりました。

自分も普段運動していなかったせいか、次の日になってから体が悲鳴を上げだし、今も筋肉痛の腕でキーボードを打っています（泣）。今年の悔しさをばねに、来年こそはナノメカコースに優勝旗をと今から少しだけ“気合い”が入っています。日頃体を動かす大切さが身にしみ、空いている時間にでも少し走ろうかなと決意表明をしつつ運動会の報告にしたいと思います。